

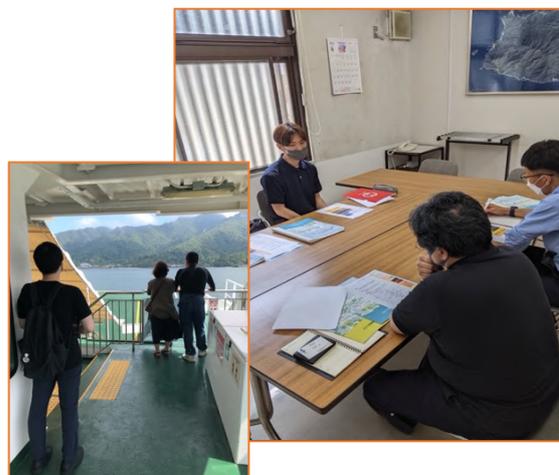
宮島観光活性化プロジェクト



～宮島と世界をつなぐ言語景観～

✓ 連携先の方々へのご挨拶

宮島観光協会様、廿日市市役所様、宮島支所様、NTT 西日本様へご挨拶に伺わせていただきました。本プロジェクトの概要を説明し、今後の活動でのご協力をお願いしました。



✓ キックオフミーティング

連携先の方々、また帝京大学の三竝先生・大脇先生を本校へお招きし、キックオフミーティングを開催いたしました。私たちが宮島という観光地に対して抱えている課題観を共有し、皆様より大変貴重なご意見を頂きました。

✓ 現地調査（外国人観光客）

外国人観光客が宮島に対して抱えている問題点と、宮島の言語景観（英語表記）について、具体例を提示しながら聞き取り調査を実施しました。問題点に関しては、「英語でコミュニケーションが取れない」という回答が得られました。しかし、言語景観に関しては、「特に問題ない」と回答者全員が答えました。



✓ 現地調査（地元店舗）

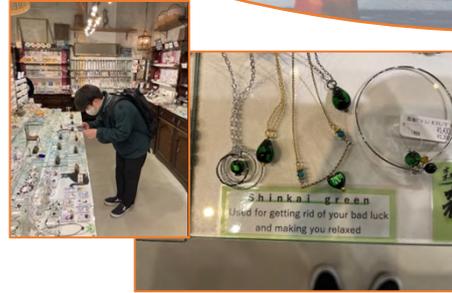
キックオフミーティングより頂いた意見を踏まえ、商店街で「外国人観光客とのコミュニケーションで困ること」について聞き取り調査を実施しました。多くの店舗で「簡単な接客はできるが、商品の説明などの会話となると難しい」という回答が得られました。ここで私たちは、コミュニケーション上で不安を感じているのは外国人ではなく店舗側だと分析しました。そこで、3グループに分かれ、実際に3店舗で英語表記の改善に取り組みました。





✓ A グループ (石ころ館様)

石ころ館様の商品説明に関する英語表記を改善させていただきました。お店の方も実際に外国人観光客がいらした時に使用しているそうです。外国人を対象に、「改善前と改善後においてどちらが優れた英語表記か」という調査を行ったところ、10人中8人の方が改善後の方が表記として優れているとおっしゃられました。



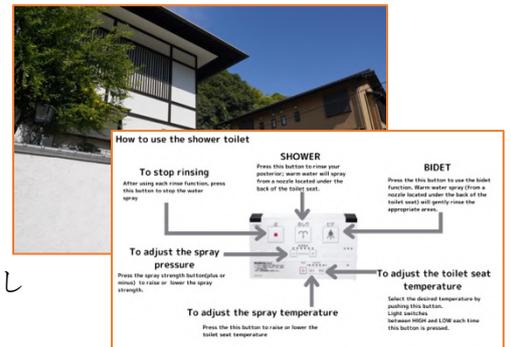
✓ B グループ (宮島のおみやげ処 ふなつき様)

「しゃもじ」について説明する英語表記を作成させていただきました。お店の方は、外国人のお客様がしゃもじに記された漢字の意味を理解し、日本文化について知識を深めていただけると喜んでいらっしゃいました。外国人を対象に「この表記があることで商品の購入に好影響があるか」という調査を行ったところ、5人中5人の方が好影響だという回答を頂きました。



✓ C グループ (三國屋様)

ゲストハウス三國屋では外国人観光客の方の利用が多く、家電製品や施設利用の上で困ることがあったようです。そこで、私たちのグループは家電製品の使い方やゴミ箱の分別方法などのPOPを作成しました。これにより利用者(外国人)の方からは使いやすくなった、利用できるものが増えたという意見をいただきました。また、オーナーの方からは業務が少し楽になったというご意見をいただきました。



■ プロジェクトの歩み

- 2022年7月 ● 連携先の方々へのご挨拶
- 2022年8月 ● キックオフミーティング
- 2022年8月 ● 現地調査 (外国人観光客)
- 2022年10月 ● 現地調査 (地元店舗)
- 2022年11月 ● 現地調査 (A,B,C)
- 2023年2月 ● 活動報告会

